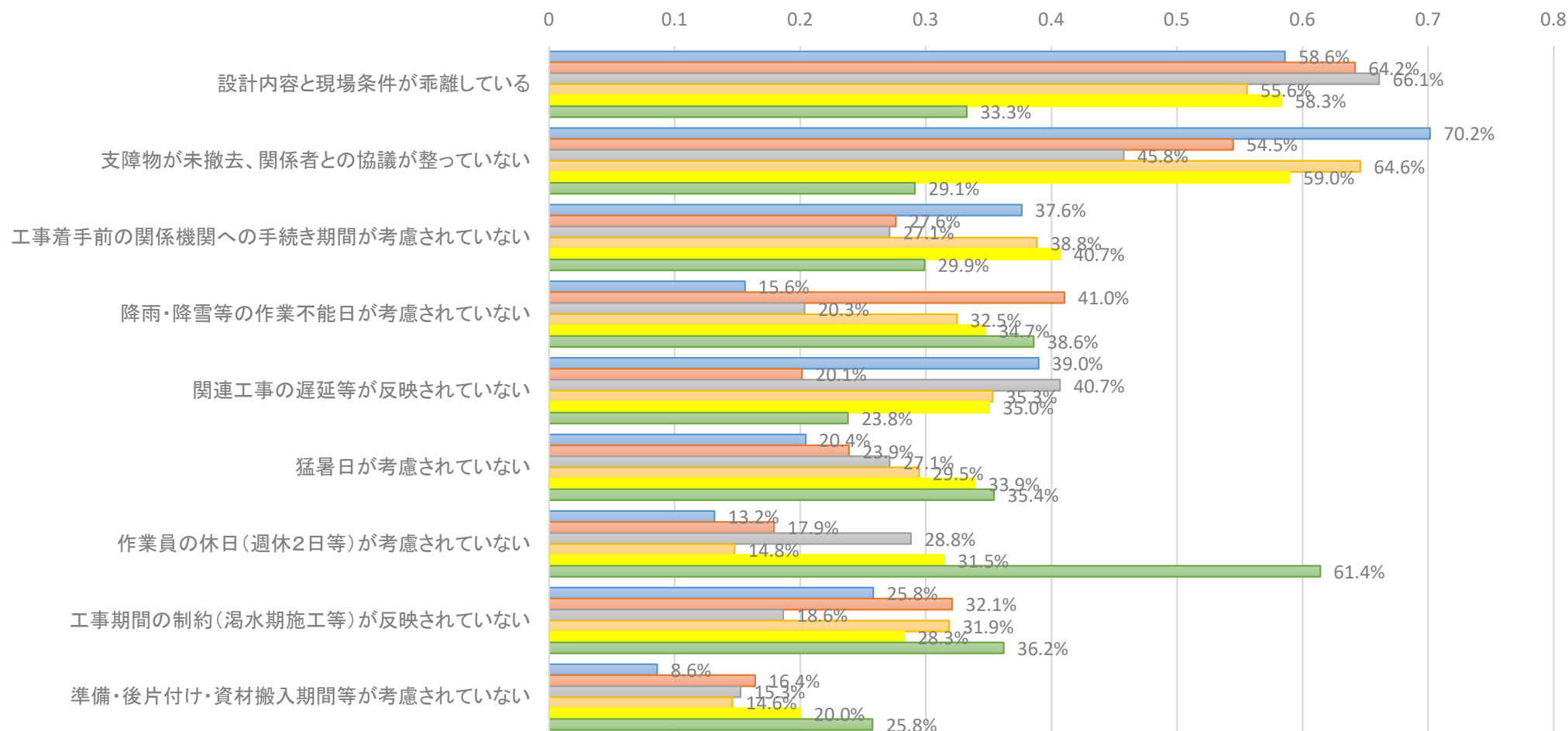


Q7 「(概ね) 適正であるが、問題も感じている」、「(一部) 不適正(問題を感じている)」と回答された方に伺います。
現場の状況等を踏まえた適切な工期設定について、問題と感じていることを発注者ごとにお答えください(複数回答可)。

○工期の設定に関し問題と感じているのは、「設計内容と現場条件が乖離している」、「支障物が未撤去、関係者との協議が整っていない」が多い傾向にある。

民間発注者では、「作業員の休日(週休2日等)が考慮されていない」が最も多くなっている。

工期設定に関する問題意識



■ 国土交通省 ■ 農林水産省 ■ 防衛省 ■ 都道府県・政令指定都市 ■ 市区町村 ■ 民間発注者

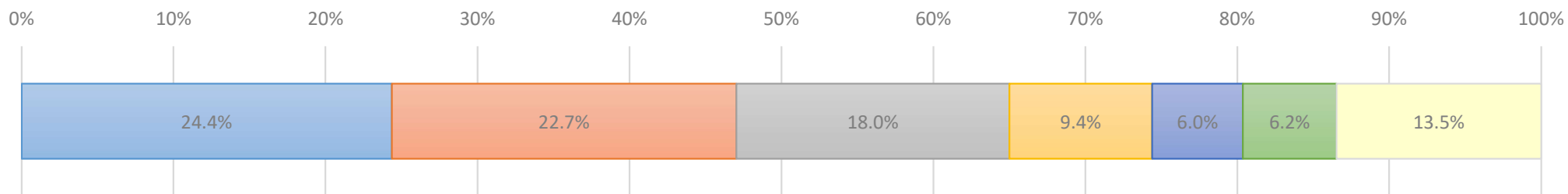
Q16 スライド条項の適用を申請するに当たり、問題と感じていることをお答えください（複数回答可）。

※「その他」をご選択の場合、具体的な内容もご記入ください。

○スライド条項の適用を申請するに当たり問題と感じていることは、公共工事では「提出を求められる書類が多い」（22.7%）、「スライド条項における事業者負担（1%）」（18.0%）、「特に課題と感ずることではない」（13.5%）の順になっている。

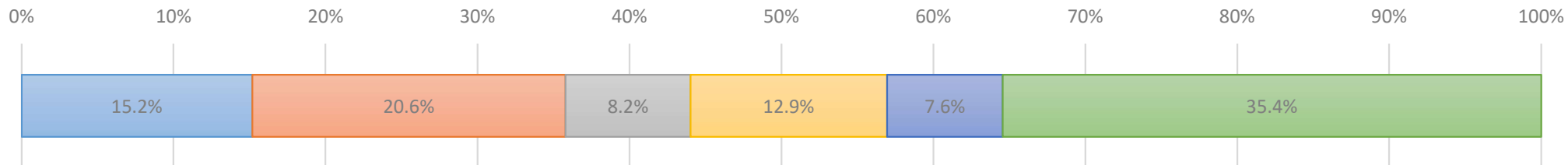
民間工事では、「課題と感ずることではない」（35.4%）、「交渉には応じるが、増額には応じてくれない」（20.6%）、「事務作業負担が大きい」（12.9%）の順になっている。

スライド条項適用申請に係る問題点（公共工事）



- 事務作業負担（発注者との協議等）が大きい
- 提出を求められる書類が多い
- スライド条項における事業者負担（1%）
- 申請額と認定額の差が大きい
- 申請しても拒否される（予算制約や議会承認に起因する理由）
- 申請しても拒否される（手続き不慣れ等発注側担当者に起因する理由）
- 特に課題と感ずることではない

スライド条項適用申請に係る問題点（民間工事）



- 交渉にお願いすることができない
- 交渉には応じるが、増額には応じてくれない
- 同一工事内の他の経費の減額と相殺される
- 事務作業負担（発注者との協議等）が大きい
- 提出を求められる書類が多い
- 特に課題と感ずることではない